

《基本理念》医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

2013. 9

TORANOMON
VOL. 122

とらのもん

URL : <http://www.toranomon.gr.jp>



公開講座

『健康長寿のためのアンチエイジング の実践』

院長 大内 尉義

日時：9月28日（土）14：00～15：30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）

※ 諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

今月の特集

- 公開講座 健康長寿のための
アンチエイジングの実践
- 小児の腎臓病
連携医療機関のご紹介
- 「ハイ！お答えします」
～回復期リハビリテーション病棟～



『コスモス』 撮影：増田 勝男

わが国の65歳以上の高齢人口は24%を超えましたが、今後さらに高齢化がすすみ、2015年には25%、すなわち国民の4人に1人は高齢者という、かつて世界のどの国も経験しなかった超高齢社会を迎えることが予想されています。しかも、わが国の高齢化はそのスピードが先進諸国の中でもっとも速いこと、また75歳以上の後期高齢者の人口が激増することが特徴です。このような急速な高齢化の進展は、医学・医療・福祉の領域にとどまらず、経済・文化のありかたにまで大きなインパクトをあたえ、社会構造そのものの抜本的な見直しが必要な状況となっています。このような超高齢社会をのりきるには、健康で自立した人生を全うすることが大変重要であり、この具体的な方法として、「アンチエイジング」が注目されています。

アンチエイジングとは

「不老不死」は古くから人類の最大の願いです。人間が動物である以上、いつか死が来ることは避けられませんが、老化をできるだけ防止し、健康で充実した人生をおくることは可能です。このように健康に老い、天寿を全うする人生をサクセスフル・エイジング (successful aging) といいます。すなわち「不老」とは健康で自立して過ごせる期間である「健康寿命」をいかに長く保つかと同じ意味です。単に寿命だけ延長させてもあまり意味はなく、いかに健康に老いるかが問題となります。

サクセスフル・エイジングを達成し、健康寿命を長く保つためには、老化とはどのような生物学的現象であり、何によって規定されているのか？ どうしたら老化の過程を遅延させることができるのか？ 老化を基盤に起こってくる老年疾患の本態は？ それを制御するにはどうしたらよいか？ など、多くの疑問を解明することが必要です。老化の過程は生活習慣病と同じように、遺伝素因 (老化遺伝子・抗老化遺伝子) と環境要因 (食事・運動・ストレスなど) によって決定されると考えられていますが、ヒトにおいて、老化あるいは抗老化遺伝子として確定的なものはわかっておりませんし、また環境要因と老化の関係も必ずしも明らかではありません。最近の学問のめざましい進歩を背景に、老化の機序に関する研究は著しく進んでいます

院長

大内 尉義 昭和48年卒

<専門分野>

老年医学、循環器疾患 (特に動脈硬化、高血圧)、認知症、骨粗鬆症



<資格・所属学会等>

日本老年医学会 理事長・指導医・老年病専門医、
日本動脈硬化学会 副理事長・動脈硬化専門医、
日本認知症学会 理事・認知症専門医 など

が、老化の本態やそのメカニズムの解明にはまだ時間がかかりそうです。

最近、「アンチエイジング」あるいは「抗加齢」が注目をあびており、これを実現するための医学をアンチ・エイジング医学あるいは抗加齢医学とよんでいます。この「抗加齢」という概念は、老化制御—すなわち老化の進行を人為的に制御することと同意です。

アンチエイジングの実践法

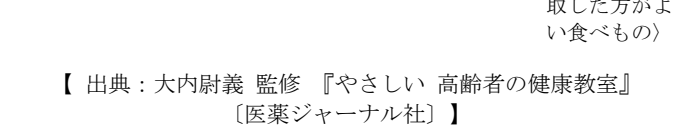
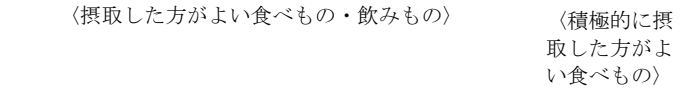
1) 食事とアンチエイジング

食事 (カロリー) 摂取制限と適度な運動によって寿命がのびることが実験的に知られています。たとえば、20%の食事制限をしたラットの寿命は長いことが観察されていますし、さらに、最近の米国での研究によれば、長寿の代謝マーカーとして、低体温・低インスリン血症・高デヒドロエピアンドロステロン (副腎から分泌される男性ホルモン的一种) 血症をあげ、これらはいずれもカロリー制限をしたサルに認められ、カロリー制限がヒトの長寿にも有効である可能性が示されています。食事についてはカロリー制限以外に、コレステロール・動物性脂肪 (動脈硬化を促進) ・糖分 (肥満のもと) ・食塩 (血圧を上昇) などの摂取を制限し、高血圧・脂質異常症 (高脂血症) ・肥満を抑制し、動脈硬化を予防することは、おそらく老化を予防し長寿に結びつく可能性が高いと考えられます。実際、血圧が正常なヒトは、血圧の高いヒトに比べて老化度が低いことが報告されています。

食事の内容については、魚 (特に青魚) に動脈硬化を抑制する働きのあることが以前からわかっていたましたが、最近、アルツハイマー病を



〈摂取を制限した方がよい食べもの・飲みもの〉



〈摂取した方がよい食べもの・飲みもの〉

半分程度にまで抑制することがわかってきました。魚の摂取はまた、骨粗鬆症の予防にも効果的であり、魚は動脈硬化・認知症・骨粗鬆症という三大老年疾患にすべて効果的と考えられ、アンチエイジングのためには一石三鳥と言えます。

2) 運動とアンチエイジング

適度な運動はエネルギーを消費することによって、肥満の予防または改善、トリグリセリド（中性脂肪）の低下、抗動脈硬化作用を有する善玉のHDL-コレステロールの上昇、高血圧の改善、糖尿病の予防などの多彩な作用があり、動脈硬化の抑制効果、ひいては長寿が期待できます。また最近では、適度な運動はアルツハイマー病の予防に有効であるということも報告されています。適度な運動とは、最大酸素摂取量の50%の強度の運動（脈拍が $[138 - \text{年齢} / 2]$ 程度となる、やや苦しいという程度の運動）を週3回以上継続的に行うこととされています。運動の種類としては、短距離走やウェイトリフティングなど瞬発力が必要な運動よりも、速歩・ジョギング・サイクリングなどの持続的な有酸素運動を行う方がエネルギー消費に効果的であると考えられています。ただ、狭心症などの循環器系の疾病を既に持っている方、あるいは動脈硬化がすすんでいる可能性のある、糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病を持っている方、また、骨粗鬆症・変形性関節症などの骨関節疾患を持っている方は、運動の可否や程度について、事前に医師に良く相談してから行うようにしてください。

3) 嗜好品とアンチエイジング

嗜好品については、禁煙・適度なアルコール摂取（アルコールとして20~30ml/日）は結果的に長寿に結びつく可能性が高いと考えられています。喫煙は一時、アルツハイマー病を予防するのではないかと考えられたこともありますが、現在ではその考えは否定されています。

4) ホルモン・サプリメントとアンチエイジング

アンチエイジングの方法として注目されているのがホルモン（男性ホルモン・女性ホルモン）補充療法や種々のサプリメントです。ホルモン補充療法に関しては、老化に伴って起こる機能障害（更年期障害など）やある種の老年疾患の発症を予防することが知られています。しかし、サプリメントの中には、そのようなエビデンスが得られていないものが数多くあります。したがって科学的な裏付けがあるかどうかということを考える必要があります。インターネットで調べたり、かかりつけの医師に相談するのもよいと思いますが、まず真実を確かめる態度が必要です。

5) 外見のアンチエイジング

エステあるいは美容外科等は、外見的なアンチエイジングであり、細胞・器官・個体の老化制御という真の意味でのアンチエイジングとは言えません。しかし、このような外見的な若々しさを保つことが、積極的に社会と関わることを促進したり、こころの健康を保つ上で有意義と考えられます。この場合、信頼できる医師・医療機関を受診することが重要であることはいうまでもありません。

まとめ

老化は生物の宿命ではありますが、中でも老年疾患の発症に結びつく病的老化の予防が重要です。実際に、老化を制御し、寿命を延長することが可能な時代になってきました。しかし、健康度/身体機能/QOLが伴わない単なる寿命の延長は意味がなく、アンチエイジングは、老化を予防し、健康度/身体機能/QOLを維持して天寿を全うする、いわゆるサクセスフル・エイジングを実現することが目的であることを強調したいと思います。

今回は子どもの腎臓の病気についてお話しします。簡単に言いますと、子どもの“おしっこ”にまつわる問題ですが、これには学校検尿での異常や糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・尿路感染症・腎尿路奇形（膀胱尿管逆流・水腎症など）といった病気のほか、頻尿や夜尿（おねしょ）など身近な心配ごとまでいろいろあります。

学校検尿の異常

日本では学校検尿が普及し、子どもの腎臓病の早期発見に貢献しています。学校検尿は毎年春に行われますが、ここで異常（血尿やタンパク尿）が疑われると、学校での再検査を経て病院で詳しい検査をするように言われることが多いと思います。軽い血尿であれば心配のないことがほとんどですが、血液検査や超音波検査で問題のないことを確認しておく必要があります。タンパク尿のみの場合は起立性タンパク尿（体位性タンパク尿）の頻度が高く、こちら心配ありませんが、早朝尿（朝起きた直後の尿）ではタンパクが出ていないことが重要です。もし早朝尿でもタンパクが出ている場合には、まれに巣状糸球体硬化症という病気のはじまりであることがあり注意が必要です。血尿が多い場合やタンパク尿と同時にみられる場合は、糸球体腎炎の可能性があるので、経過を見たいうで精密検査にて原因を詳しく調べる必要があります。当院小児科では、どの市区町村の学童でも学校検尿の異常に対応しております。電話にて外来日をご確認のうえ、学校から手渡された書類をお持ちになって受診してください。

急性糸球体腎炎

ほとんどが溶連菌という細菌感染症が原因です。感染後1～3週間たってから、血尿やむくみ、高血圧などの症状で急に発症します。入院して安静にすることにより徐々に治りますが、一時的に塩分や水分の制限が必要になります。

慢性糸球体腎炎

日本では学校検尿をきっかけに無症状のうちに発見されることがほとんどです。小児ではIgA腎症とよばれる病気が最も多く、尿所見や経過などからある程度の推測ができますが、診断のためには腎生検が必要です。腎生検とは背中から針を刺して腎臓の組織を取り顕微鏡で詳しく調べる検査です。ほかにアレルギー性紫斑病に伴ってみられる紫斑病性腎炎や膜性増殖性糸球体腎炎、遺伝性の腎炎などもあります。小さいお子さんの腎生検は全身麻酔で行うことができますが、当院では腎センターや麻酔科の協力を得て安全に検査できるように配慮しています。

小児科医長
小川 哲史 平成2年卒

<専門分野>
小児腎疾患

<資格・所属学会等>
日本小児科学会 小児科専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医

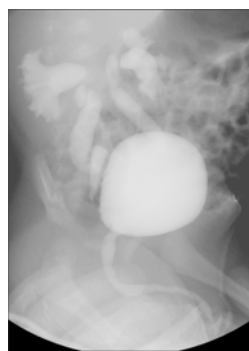


ネフローゼ症候群

大量のタンパクが尿の中に漏れ出てしまう病気で、血液中のタンパクが低下するために、多くは全身にむくみが生じて気づかれます。子どものネフローゼ症候群は、特発性（原因となる別の病気がないもの）が多く、ステロイドという薬の治療によって尿タンパクが消えやすいのですが、残念ながら再発が多いことが特徴です。再発しても頻度が少なければ、そのつどの治療で対応できます。頻回に再発する場合は免疫抑制剤など他の治療法を併用しながら、長期間にわたり病気と根気よく付き合っていくことが必要となります。

尿路感染症

尿の中で細菌が増えてしまう病気です。大人では排尿時痛や頻尿、腰の痛みの自覚により診断に結びつくことがありますが、子どもでは発熱が唯一の症状であることが多いので注意が必要です。発熱の原因が確定できないうちに抗生物質を内服すると、いったんは治ったように見えることがあり、尿路感染症かどうかわからなくなってしまうため、安易な投与は避けたいものです。そのため小児科医は、咳や鼻水などのかぜ症状がない子どもの発熱では、尿路感染症の可能性を常に念頭において診療に当たっています。もし尿路感染症が疑われる場合は、入院して点滴から抗生物質を入れる治療を行うのが一般的です。小児の尿路感染症で重要なことは、その原因として腎臓や尿の通り道の異常が潜んでいることが多いという点です。尿路感染症をきっかけに、膀胱から尿管へ尿が逆流する異常（膀胱尿管逆流）や尿が流れにくいために尿の通り道が太くなっている状態（水腎症）が見つかることが少なくありません。これらの異常は、ほとんどが生まれつきのもので、軽いものでは自然に治ってしまうこともあります。高度になると知らず知らずのうちに腎臓に負担がかかり、将来的に腎臓の働きを悪くさせてしまいます。したがって、尿路感染症を発症した子どもでは、こうした異常がないかどうかを調べておく必要があります。超音波検査のほか、症例によっては造影剤を使った検査や核



<高度の膀胱尿管逆流を認める乳児の造影所見>

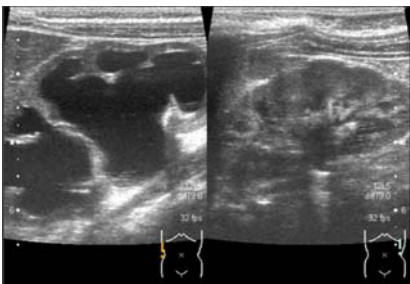
ホタル観賞会開催報告

分院総務課 岩本 隆

医学検査（シンチグラフィ）を行って診断しますが、当院では小さなお子さんでもスムーズに検査できる体制を整えていますので、安心してご相談ください。

先天性水腎症

生まれつきの水腎症のことを指しますが、最近ではお母さんが妊娠中に受ける胎児超音波検査によって出生前に発見されることが多くなりました。出生後も赤ちゃんの超音波検査により経過を追っていきますが、ほとんどの症例では数年のうちに自然に良くなることが多いため過度に心配する必要はありません。しかし、水腎症の程度が強い場合は、尿の流れ方や腎臓の働きを見る検査（レノグラム）を行い、経過によっては手術が必要になることもあります。当院では産婦人科と小児科が密に連携していますので、妊娠中の胎児超音波検査で先天性水腎症が疑われた際には、出生後も小児科医が確実にフォローしています。他院産婦人科で出生された赤ちゃんでも対応していますので、ご遠慮なくお申し出ください。



〈高度の先天性水腎症（左側の画像）を認める乳児の超音波所見〉

小児の頻尿

最近、「ちょくちょくトイレに行く」というお子さんの相談が増えています。頻尿は尿路感染症を疑う症状の一つですのでご心配と思いますが、実はこうした訴えで尿路感染症が見つかる例は少なく、ほとんどは一時的で問題のないものです。しかし、まれには腎臓や膀胱の病気が原因であることもありますので、心配な場合はぜひ一度ご相談ください。簡単な尿検査にて問題がなければ、しばらく経過を拝見しますが、異常が疑われる際には精密検査も行います。

小児の夜尿（おねしょ）

おねしょの問題は本人だけでなく親御さんにとっても深刻です。他人にはなかなか相談しにくいものですが、最近では医学の進歩により、おねしょの心配を減らすことができるようになってきました。修学旅行や合宿など、宿泊前に何とかしたいというケースもあるかと思いますが、お悩みの際には、早目にご相談いただくことをお勧めします。年齢にもよりますが、まずはおねしょの時間や量、尿の濃さ、昼間にがまんできる尿の量などを検討し、お子さんの夜尿の種類を見きわめたいうえで、タイプに応じた解決法や治療を提案していきます。

このように、当院では子どもさんの“おしっこの問題”について幅広く対応しています。いつでもお気軽にご相談ください。

分院の裏門通路脇の人工の川が通称“すすかけの川”です。職員にとっては何気ない水溜まりですが、患者さん方にとっては坂道を登りほっと一息、メダカの泳ぐ姿を目にし、懐かしい里山の光景を想い出す癒やしの小川なのです。

さて今年の春、男のロマンでホタルを育てようとの小川にホタルの幼虫と餌となるタニシを放流しました。そして、6月の末から羽化が始まり7月の1日・2日の両日にホタルの観賞会を実施しました。

ホタルの観賞会には、患者さん方、職員そして職員の子供達等、多数が参加され、発光したホタルの舞を見ては歓声をあげられておりました。「数十年ぶりのホタルだ。」「ホタルを見たのは初めてだ。」等、病院でホタルを見られることなど誰一人として予測していなかっただけに、故郷で見た光景を重ねて嬉しそうに話されていました。

観賞会は、管理上の都合で2日間に限定して開催しましたが、幼虫から羽化に至る間、餌となるタニシの天敵のクラスやゴイサギの進入対策等を講じたり、羽化後のネットを設置したり 多くの方にお世話になりました。更に観賞会当日は、車椅子患者さんの送り迎え並びに外灯を消した暗闇の中での転倒事故等の防止に協力して下さった多くの職員の方々のお陰で何事もなく無事に終了しました。おやじの夢は実現、ホタルの様に空を舞う満足感で一杯でした。今年の成虫が卵を産み、来年も自然ふ化する事を期待し、無事に観賞会を開催できましたことを心からお礼を申し上げます。

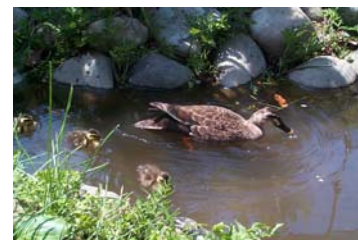
余談ですが以前には、カルガモの親子がこの小川に来ました。カルガモは、ほぼ毎年、旧玄関前の池に飛来していましたが、ヒナを連れてきたのは初めてのことでした。カルガモのヒナを見たときは感激の一言でした。朝から晩まで患者さん・職員・面会者まで微笑ましい親子の姿に見惚れていました。

都会では贅沢な緑の草木、そして小さな人工の小川ですが、メダカの小さな波紋ひとつがあなたを癒しと想像の世界にお迎えしますので、時間がありましたら覗いて見てください。

ホタル観賞会当日の写真は、真実の姿を掲載しませんが、



〈ホタル〉



〈カルガモ〉

〈統括所長あいさつ〉

当医療法人は、1891（明治24）年4月1日に、遠山椿吉先生が京橋に開設された「東京顕微鏡検査所」をルーツとしており、東京顕微鏡院の保健医療部門を2003（平成15）年に分離独立して現在の形態となりました。

業務内容は、予防医療を根幹として、健康診断、人間ドック、婦人健診、外来診療、女性外来、保健指導等を飯田橋駅前の施設で実施するほか、学校や職域への出張健診、企業に産業医・保健職を派遣しメンタルヘルスを含めた産業保健にも力を入れております。また、自施設内で血液検査、内視鏡、細胞診断、CT、MRI検査も実施しており、各専門医による高精度な診断と治療に努めています。さらに、公益事業として、生活習慣病セミナーやメンタルヘルス対策セミナーを東京顕微鏡院と共催で実施し、最新の医学知識の普及と啓発活動を行っています。

私は、大学病院と市中病院の臨床医から、常勤産業医として20年余り勤務しました。そこで経験したことは、生活・労働環境が働く人のこころと体に及ぼす影響が多岐にあり、受診者の背景因子を把握した総合的な健康指導の重要性です。

大切なことは、健康診断・人間ドックの成績を生活習慣の改善に繋げることで、生涯にわたる個人の健康管理をサポートすることが我々の使命です。そのためには、事後フォロー体制が重要で、外来診療の充実と大学病院・専門医療機関との連携を確立しています。

この面からも虎の門病院には、従来から多数の先生方に医療全般に多大のご協力とご指導を賜り、改めて御礼申し上げます。故 秋山洋名誉院長には当法人の戦後再興後間もなくから、またその後は社外役員として永きにわたりご指導頂き、また副院長の渡邊五朗先生には、長年にわたり腹部超音波を中心にご指導を頂いております。そして、院長にご就任なされた大内尉義先生には、学会活動等を通して大変にお世話になっています。

今後ともより一層の医療連携をお願い申し上げますとともに、虎の門病院のますますのご発展を祈念申し上げます。

統括所長 及川 孝光（おいかわ たかみつ）



- 略歴
慶應義塾大学医学部卒業（1973年）
東京都済生会中央病院
三菱東京UFJ銀行健康センター所長

- 専門分野
生活習慣病の予防・治療、循環器病、脂質代謝、老年医学、糖尿病、アルコール関連疾患、産業医学、メンタルヘルス

- 資格・所属学会等
日本循環器学会認定循環器専門医、
日本老年医学会認定老年病専門医、
日本内科学会認定内科医、日本人間ドック学会認定医
労働衛生コンサルタント、日本医師会認定産業医

主な常勤医師

高築 勝義	東京大学医学部卒	名誉所長	理事	内科
八巻 悟郎	金沢大学医学部卒		理事	消化器内科
鈴木 恒雄	日本医科大学卒		理事	呼吸器内科
大村 峯夫	東京慈恵会医科大学卒		理事	婦人科
小田 瑞恵	東京慈恵会医科大学卒		理事	婦人科

【診療受付時間】 予約制

午前 9:00~11:30 午後 1:00~4:30
夜間 婦人科（火・木）5:00~7:00

※ 詳細はウェブサイト
(<http://www.genkiplaza.or.jp>) でご確認ください。

【診療科目】

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、
糖尿病内科、泌尿器科（男性更年期外来含む）、
精神科、漢方内科、女性外来（婦人科、乳腺外科）



〈外観〉



〈女性外来待合〉



〈MRI〉



〈人間ドック受付〉



〈X線骨密度測定装置〉



〈婦人科相談コーナー〉



〈デジタル乳房X線撮影装置（マンモグラフィ）〉



診療所こころとからだの元氣プラザ

- 住所 東京都千代田区飯田橋3-6-5
- 電話 03-5210-6666（代表）
予約：03-5210-6620（一般外来・女性外来）
- URL <http://www.genkiplaza.or.jp>
- 交通 JR総武線「飯田橋駅」下車 東口
東京メトロ 有楽町線・南北線・東西線、
都営大江戸線「飯田橋駅」下車 A2出口すぐ

アルルのファン・ゴッホ

元精神科部長 栗原 雅直

プロヴァンスのアルルといえば、だれしもファン・ゴッホを連想する。彼の絵にある太陽の光をうけて黄金色に咲き乱れる向日葵と、糸杉の波打つ黒い影との対照が、この地方の特長なのである。

ローマ時代のフォーラム（広場）近くに宿をとった。ゴッホで有名な夜のカフェはどこか訊ねてみたところ、すぐそばだが飲み物専門で食事は出ないと言う。別な場所で晩御飯にしたら、実は簡単な食事はできたのである。あまりにカフェが有名になったので、ホテルが反感を持ちウソを教えたのかと邪推してしまった。

そこではゴッホ御愛用のアブサンを飲もうと思っていた。しかしそのうち忘れてしまった。当時彼は80%という高濃度のアブサンを飲んでいて、中毒状態になって幻聴が聞こえ出し、左耳の耳たぶを切り取り、馴染の売春婦にプレゼントしたのである。花形闘牛士は倒した牛の耳を切り取って最愛の女性にプレゼントするものだが、彼は闘牛士であると同時に殺される牛でもあった。そんなマゾヒズム的両義性も、彼の心理には潜んでいたのかも知れない。絵具を溶かすテレピン油まで飲もうとして、市内の施療院に入院させられてしまった。現在そこはエスパス・ヴァン・ゴッホという複合文化施設になっており、彼の絵そのままである。もっとも土産物屋ばかりが繁盛していたけれど。

彼の発病は、中央画壇に反逆する新たな絵描きグループを結成しようとして、ゴーギャンとの共同生活を始めたのがストレスになったことも原因になっている。激しい性格の彼とは、うまくやってゆけるはずがないのである。

そのとき住んでいた黄色い家は、第二次大戦の末期ドイツ軍の飛行機がわざと爆弾を落として破壊されてしまった。惜しいことをしたものである。無教養のドイツ兵にとって、オランダの気違い絵描きたちが住んだ家など、面白半分に壊してもよい程度のものであったろう。

アブサンは水を入れて薄めると白濁し、独特の香りがあるアペリティブで、庶民には人気がある。だが、依存性を起こしやすく、ある時期からニガヨモギを原料とする濃いものは禁止になってしまった。アブサン会社のオーナーが、アル中患者が大勢出たのは自分のためという罪業妄想をもち、うつ病になった話もある。今は中華料理の材料の八角などが代用されている。

ヨハネの福音書には、ニガヨモギ（＝ウクライナ語でチェルノブイリ）という黒い星が落ち、水が苦くなって大勢の人が死ぬと書いてあった。これが1986年の原発事故を預言していたと騒ぎになった。またノストラダムスも同じような予言をしたという話もある。

ゴッホの病気は（ドストエフスキーのような）てんかん性精神病だろう、と私は推察している。元来の几帳面、執着的な性格もその証拠だし、意識障害を伴う興奮性の発作が数日続く点もそうだった。弟のテオは

兄が亡くなった直後、雇い主であるグービル商会のオーナーと大喧嘩し、辞表をたたきつけ精神病状態になり、入院後すぐに亡くなってしまった。また3番目の妹ウィルも神経の鋭い女性で、しばしば錯乱状態に陥り、晩年は精神病院で過したという。おそらく優性遺伝があった上にアブサン中毒も影響し、感情的なストレスも重なったことが発症のキッカケになったのだろう。

ゴッホには彼の誕生する一年前のちょうどその日、生まれた直後に亡くなった兄がいた。その兄と同じ名前を付けられた彼は、その死は自分の責任で、それで両親から愛されないと思っていたようである。さらにテオの息子も自分と同じ名になったが、そこに生まれ変わりというか、生命の流れを読み取ったのであるまいか。いつまでもテオ夫妻の厄介になり、彼らの幸福の邪魔をしてはいけないと思って、パリ郊外オーヴェール村でピストル自殺をしたのだろう。

今回初めてゴッホの跳ね橋を見る機会があった。橋はかなり巨大なもので、現在は跳ね上がった形のまま復元されている。アルル市のすぐ南側の運河にかかり、当時の橋守の名前を取ってラングロア橋と呼ばれている。ゴッホの絵（1888）では跳ね橋の上を馬車が通っているが、佐伯祐三の水彩画（1925）でも様子と同じである。現在（2013）、この橋は通れなくなり、すぐ隣にコンクリートの橋が架けられていた。彼に描かれた川べりの洗濯女たちは、石鹸や自動洗濯機の普及のためか姿を消してしまい、今日見ることが出来ない。

（藤村信著『ゴッホ星への旅』上下 岩波新書などを参照）



『黄色い家（アルルのゴッホの家、ラマルティエヌ広場）』



『アルル施療院の庭』



『夜のカフェテラス（アルルのフォーラム広場）』



『アルルの跳ね橋』

ハイ！お答えします

日頃、心と疑問を持ちながら過ごしていることや、つい聞きそびれてしまったことなどありませんか？
今回は、リハビリテーションスタッフの業務内容やリハビリの対象疾患などについてお答えします。

Question

リハビリテーション技士はどのような業務をおこなっていますか。

Answer

リハビリテーション技士は、異なる国家資格を持ったスタッフが専門別に3科に分かれています。理学療法（PT）では主に四肢の機能回復や歩行の訓練を、作業療法（OT）では主に上肢から手指の機能訓練や高次脳機能障害・生活動作の訓練を、言語聴覚療法（ST）では、コミュニケーション障害（失語症や構音障害など）・高次脳機能障害・摂食嚥下障害の訓練を行います。

何れも疾患によって失われた身体機能の回復を図り、家庭復帰・社会復帰などを目指すとともに、生活の質の向上に貢献するため各種の評価・訓練を実施しています。

Question

回復期リハビリテーション病棟とは、どのような施設ですか。

Answer

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）、大腿骨頸部骨折、術後廃用症候群などの発症から2ヶ月以内の患者さんを対象として、家庭復帰・社会復帰をめざして集中的にリハビリテーションを行う施設です。当院では分院に専用ベッド40床があります。

Question

廃用症候群について詳しく教えてください。

Answer

身体は健康人であっても使わないことによって衰えます。その結果生じる、さまざまな障害を「廃用症候群」と呼びます。典型例は臥床を続けた時に生じる身体の変化です。具体的には、筋肉がやせて力が弱くなる、骨がもろくなる、立ち上がると血圧が下がる、心臓や肺の機能低下、飲み込めない（肺炎につながります）、深部静脈血栓症（いわゆるエコノミー症候群）、便秘、意欲の低下、結石、床ずれなどがあります。進行すると認知の低下も伴って「寝たきり」状態になります。廃用症候群の予防法は、日中の臥床時間をできるだけ少なくして身体を動かすことです。脳卒中でも、可能な限り発症の早期からベッドから離れてリハビリを行うことが大切です。

Question

回復期リハビリテーション病棟に入院している患者さんに対して、MSWはどのような業務を行っていますか。

Answer

MSW（医療ソーシャルワーカーの英語の略です）とは、患者さんのかかえる経済的・心理的・社会的問題の解決調整を援助し、社会復帰の促進を図る専門職です。

まず最初に他院からの入院相談の窓口となり入院審査会を行います。入院された患者さんには、早期に担当MSWが面接を行い、現状における不安や問題点等の聞き取りを行います。

入院時から退院・その後の生活状況を視野に入れ、介護保険申請指導等の援助を積極的・計画的に進めます。そして介護支援専門員・福祉用具専門員、訪問リハビリ、看護・介護ステーションなどの院外関係機関との連携調整を患者・家族と共に考えながら、回復期病棟医療チームの一員として、安心・安全な社会復帰を目指します。

私たちがお答えしました



回復期リハビリテーション病棟
スタッフ



PTリハビリテーションルーム



OTリハビリテーションルーム



STリハビリテーションルーム

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属

健康管理センター・画像診断センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル

TEL 03-3560-7777 (平日11:00~16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制）

（料金）30分：21,000円（延長15分毎：10,500円追加）

（担当）本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141